



未来づくりは、教育から始まる。

グリーンウッド自然体験教育センター

2021年3月3日

森林環境教育 × SDG's

ひとづくり × 自然 × 地域づくり = 素敵な未来！

～国道も信号コンビニもない“人口1600人の山村”の挑戦～

特定非営利活動法人

グリーンウッド自然体験教育センター 代表理事

泰阜村総合戦略推進官

青森大学特任教授・立教大学講師

辻 英之

<http://www.greenwood.or.jp>



未来づくりは、教育から始まる。

グリーンウッド自然体験教育センター

NPOグリーンウッドのビジョン(目指す社会)

「あんじゃね」な社会

あんじゃね＝案ずることはない、大丈夫だ、安心しなさい。

NPOグリーンウッドのミッション(使命)

「ひとねる」

ひとねる＝人練る＝育てる。 ひとなる＝人成る＝育つ。

自律の人づくり＝違いを認め合い支え合いつつ、
自発的に責任ある行動をとることのできる人づくり

NPOグリーンウッドのアクション(活動理念)

「地域に根ざし、暮らしから学ぶ」



未来づくりは、教育から始まる。

グリーンウッド自然体験教育センター

自然体験教育

●暮らしの学校「だいだらぼっち」

一年間の長期自然体験教育＝いわゆる山村留学

●信州山賊キャンプ・森のようちえん「まめぼっち」

長期休暇対応体験教育

都市部幼児対応体験教育

●伊那谷あんじゃね自然学校

子ども預かり「いってきました」

地元地域対応体験教育



未来づくりは、教育から始まる。

グリーンウッド自然体験教育センター

ひとづくり × 地域づくりの30年の成果

やっぱり泰阜村がいい
(村の価値の再認識)

辻君、わしゃ、 生まれ変わったら 教師になりたい

木下藤恒



1999年夏、村最奥の集落でアマゴ養殖を営む木下藤恒氏の言葉
村民が実行委員会を組織して初めて取り組んだ長期キャンプ(文部省委嘱)
「わしゃ、子どものことは何もわからん」と固辞。しかし実行委員長に。
2週間を終えて子ども達を見送った後につぶやいた



未来づくりは、教育から始まる。

グリーンウッド自然体験教育センター

わしゃ、生まれ変わったら、教師になりたい

欧米(都市)に追い付け
追い越せ

村の教育力を否定

村を捨てる教育

村の人々の意識が、質的に変化した

村人有志が
NPOや民宿を
立ち上げた

地域の未来は、地
域住民が考えて決
める「自己決定権」

信州子ども山賊キャンプ

思いどおりになら
ないことも楽しむ
それが山賊キャンプ

信州子ども山賊キャンプは…

山賊キャンプ ゼロコース

- ・ 何もない山の中で、生き抜く力を培う。

山賊キャンプ チャレンジコース

- ・ 「ちょっと不便」を徹底的に楽しむプログラム

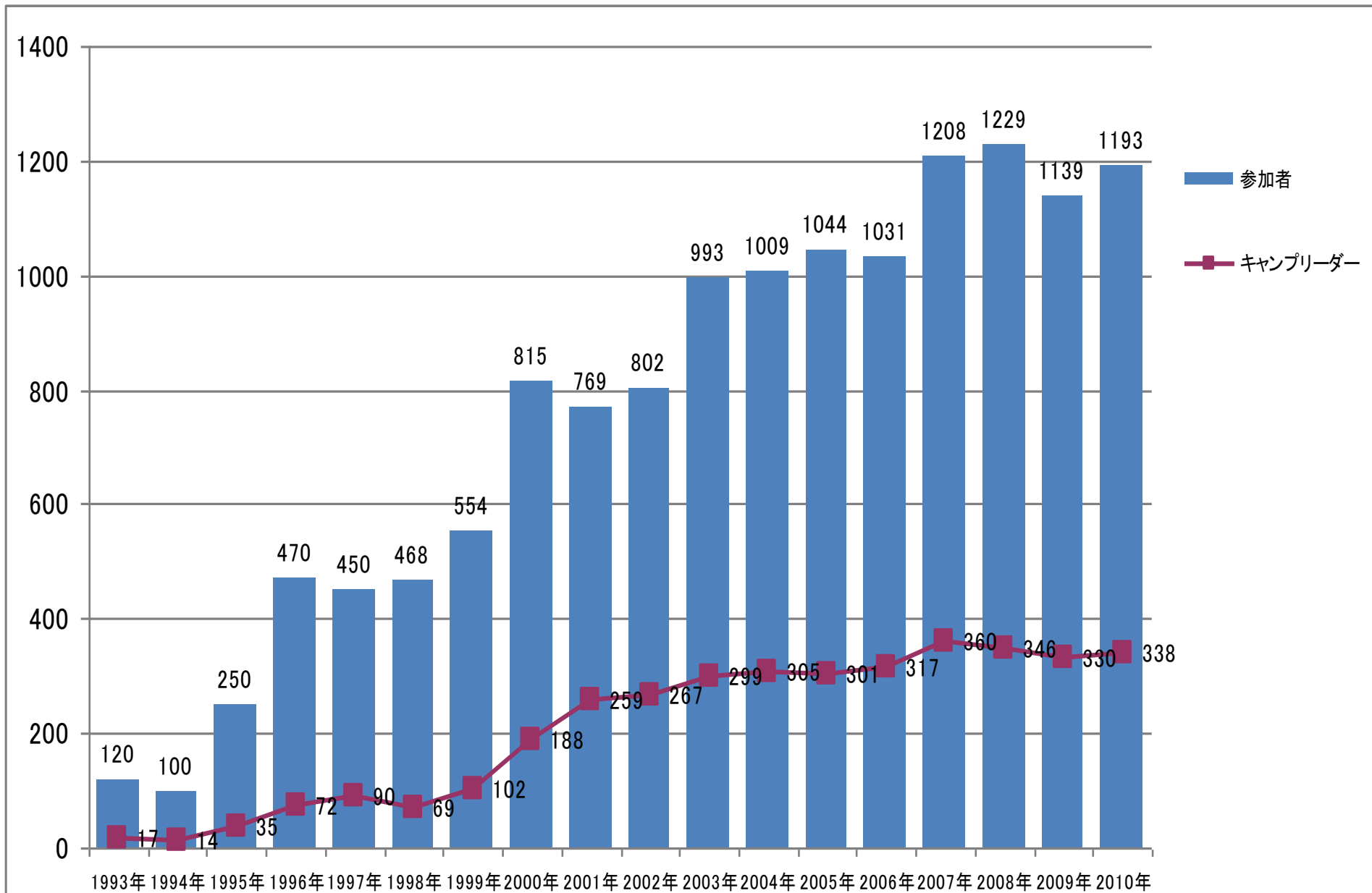
スーパー山賊キャンプ ・ 7泊～14泊の中期キャンプ

ベーシック山賊キャンプ ・ 2泊～4泊の短期キャンプ

夏、冬の山賊キャンプ

- ・ 暮らしを軸にした子ども主体の自由キャンプ。
- ・ 参加者：関東中京圏の子ども1200人（夏冬全35コース）
- ・ ボランティアスタッフ 350名参加
- ・ 2019年度文部科学省、林野庁、長野県・県教委後援

信州子ども山賊キャンプの参加者数



野菜をおいしい！ と言ってくれる

農家：中島千恵子

もっと安全な野菜を つくらにゃあ



朝採ったB級野菜を、こづかい稼ぎでキャンプへ

朝採り野菜のおいしさにこどもが嫌いなきゅうりを丸かじりした
お礼に来たこどもに感動して、ますますやる気になった

地産地消、農家のプライド



未来づくりは、教育から始まる。

グリーンウッド自然体験教育センター

ひとづくり × 地域づくりの30年の成果

やっぱり泰阜村がいい
(村の価値の再認識)

遊びが産み出した
経済効果

遊びが産み出した経済効果

人口1600人の村で20人弱の雇用は「大企業」



遊びが産み出した経済効果

2018年度のデータから

予算20億の自治体(泰阜村)にあって
1億を稼ぐNPOは「優秀な大企業」

1億の内訳(自主財源8割、他財源2割)
健全な団体(NPO)経営

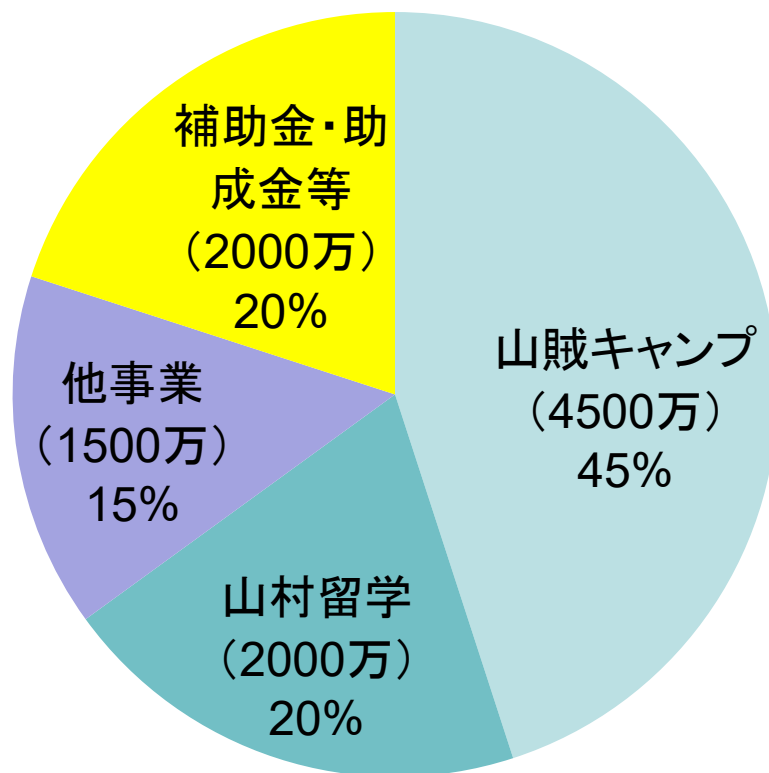
1億のうち7割が地域に還流
直接雇用から間接雇用へ(産業化へ)

遊びが産み出した経済効果

2018年度のデータから

1億の内訳(自主財源8割、他財源2割)

健全な団体(NPO)経営 総収入(1億)

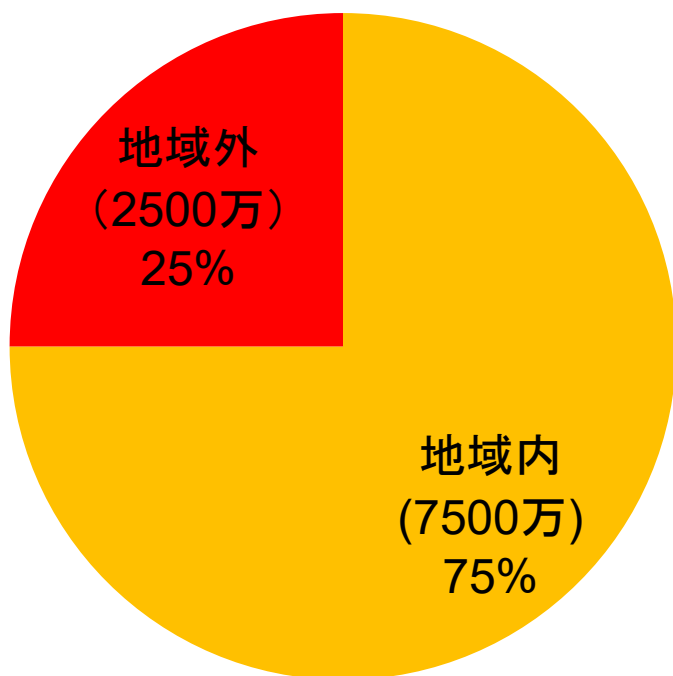


遊びが産み出した経済効果

2018年度のデータから

1億のうち7割が地域に還流

支出(1億)



直接雇用から間接雇用へ
野菜農家
隣接宿舎
無人駅にタクシー会社...

地域内産業化



未来づくりは、教育から始まる。

グリーンウッド自然体験教育センター

ひとづくり × 地域づくりの30年の成果

やっぱり泰阜村がいい
(村の価値の再認識)

遊びが産み出した
経済効果

自律的に動き出す
村人たち

自律的に動き出す村人

NPO法人グリーンツーリズム研究会

2013 秋満喫！
きのこ狩りツアー




開催日
10/19 (土)

集合場所
やまびこ館
 長野県下伊那郡泰阜村田本6172-1
 電話 0260-25-1020
 宿泊費予約(集泊まり) 3,500円)

日程

9:00	やまびこ館集合 バスで移動
9:30	きのこ狩り開始
12:00	きのこ品評会
12:30	バスでやまびこ館に戻る 自車で左京自然公園に移動
13:00	きのこたっぷり御膳の昼食
14:30	解散

参加費

大人	5,000円
小学生	3,500円

(入山料・昼食代・保険料・おみやげ代込)

持ち物
 手袋、きのこを入れるビニール袋、カッパ

定員 25名(定員になり次第締切ります)

申込締切 10月11日(金)

主催 NPO法人泰阜グリーン・ツーリズム研究会
共催 泰阜村

近隣温泉施設

かじかの湯(阿南町) 大人500円・車で30分	コスモスの湯(下條村) 大人400円・車で20分
----------------------------	-----------------------------

お土産に
 泰阜村の旬の
 果物プレゼント!

秋は山に色づく。登山でキノコ狩りはいっぱいできる！
 もしも松茸が採れるかも！
 買ったキノコは全てお土産にどうぞ！
 秋はきのこたっぷり御膳でお楽しみください！
 無敵の美味い秋を満喫しましょう！

写真は昨年の様子です

秋は山に色づく。登山でキノコ狩りはいっぱいできる！
 もしも松茸が採れるかも！
 買ったキノコは全てお土産にどうぞ！
 秋はきのこたっぷり御膳でお楽しみください！
 無敵の美味い秋を満喫しましょう！

お土産に
 泰阜村の旬の
 果物プレゼント!

近隣温泉施設

かじかの湯(阿南町) 大人500円・車で30分	コスモスの湯(下條村) 大人400円・車で20分
----------------------------	-----------------------------

お土産に
 泰阜村の旬の
 果物プレゼント!

主催 NPO法人泰阜グリーン・ツーリズム研究会
共催 泰阜村

初開催！
栃城雲上マラソン大会



標高差325m
 往復8.5kmに挑め!



先着100名限定

泰阜村栃城地区は、村の南部に位置する6世帯12名の小さな集落です。
 地区の中心には松川が流れており、上流に農家が数少ないためとても清潔。
 この川を活用したあまごの養殖が40年前から行なわれています。
 豊かな自然のなかで爽やかな汗を流してみませんか!

やすおが とんじろ



開催場所: 長野県下伊那郡泰阜村栃城地区
主催: NPO法人泰阜グリーン・ツーリズム研究会
共催: 泰阜村・泰阜村観光協会
後援: 栃城養殖漁業生産組合
 信濃毎日新聞社・中日新聞社
 南信州新聞社・信州日報

桑牟村の大地で
育った野菜を
五感で感じられる
地産地消体験ツアー

おいしいピザを
一緒に作ろう！

桑牟村で育った
トマトを使って
トマトソース作り！
生地も自分で作って
焼き立てのピザを
味わおう！

暮らしのカフェ
いただきました
イタリアンシェフ
つうさん！

一日じ〜っくり
本格ピザ作り体験

自律的に 動き出す村人

「村づくりやらまい会」
「NPOジジ王国」
「ヌーベルファーム」
「けもかわプロジェクト」

9/15(日)
8:30~

日程

8:30 暮らしのカフェに集合
9:00 オリエンテーリング
10:30 ピザ作り体験！
11:30 昼食タイム！
12:30 まだまだ続くよ！
13:30 本場ピザ作り体験！
16:00 焼き立てピザを食べて解散

まずは生地作り！
それからトマトソース！

美味しく「スタ」を
召し上げれ！

美味しく
焼けるかな！？

持ち物
エプロン、三角巾

参加費
大人 3,500円
小学生 2,500円
※幼児をお連れの方はお問合せ下さい。

申込み締切
9月9日(月)

定員
20名
定員に達したら
締切だよ！

主催：村づくりやらまい会
共催：特定非営利活動法人
グリーンウッド自然体験教育センター

問合せ：役場村づくり振興室 池田一池、若上
〒399-1895 長野県下伊那郡桑牟村3238-1
TEL: 0260-26-2111 FAX: 0260-26-2553
E-mail: muraokuri29@vil.yasooka.nagano.jp

あんじゃね支援学校



あんじゃね支援学校名簿(2019年度)

	氏 名	所 属	役 職
1	阿久津 宗徳	農芸塾	代表
2	丸本 清	村議会議員	議長
3	大越 慶	草來舎	主宰
4	梶 さち子	伊那谷あんじゃね自然学校	校長
5	原田 瑞穂	泰阜村教育委員会	教育長
6	木下 藤恒	栃城養殖漁業組合	代表
7	島崎 勝幸	泰阜村・ジジ王国	理事長
8	辻 英之	グリーンウッド自然体験教育センター	代表理事
9	柴崎 喜代志	泰阜PTA(中学校)	会長
10	宮下輝明	泰阜PTA(小学校)	副会長
11	熊谷 香織	泰阜保育園	保育士
12	宮島 康夫	グリーンツーリズム研究会	副理事長
13	森下 賀代子	わんぱく学級	アドバイザー
14	脇坂 憲治	泰阜村教育委員会	係長
15	下島 一道	泰阜中学校	校長
16	松島 房子	カンガルークラブ	代表
17	宮下 敏則	村議会議員	議員
18	仲田 浩	泰阜小学校	校長
19	山崎 笙吾	村づくり振興課	職員
20	小黒 あかり	子育て支援係	委員
21	篠田 精睦	泰阜太鼓	会員
22	竹折 尚	あんじゃね学校	OB
23	宮下 巴	子育て支援係	委員
24	横井 広寿	教育委員	委員

あんじゃね支援学校懇親会



泰阜村保育園での 「森のようちえん」へ発展



泰阜中学校との協働



地元高校（阿南高校）との協働



「体験活動」
と
「貢献活動」



地元大学(飯田女子短期大学)との協働



養護教諭の
タマゴに
校外実習

青年団(20代)、親(30~40代)の関わり



こども預かり「いってきました」



A group of five young girls are sitting around a dark wooden table, smiling and posing for a photo. They are all holding up small, round, golden-brown cookies. The girl in the center is holding a green card with colorful drawings and text. The table is set with white napkins and more cookies. The background shows a wooden interior with a couch and a red bag.



あんじゃね支援学校が受賞(2015/12/11)



震災支援＝支縁

「支え合い・共助」の文化を持つ泰阜村の底力発揮



信州こども山賊キャンプに、5年間で250人の福島の子を招待。1700人の村民がその招待を支え、全国から多くの想いが寄せられた。



暮らしの学校「だいだらぼっち」に1年間の長期で被災児童を受け入れ。困ったときはお互い様、支え合って生きていこうとする泰阜村の教育力が発揮されている。

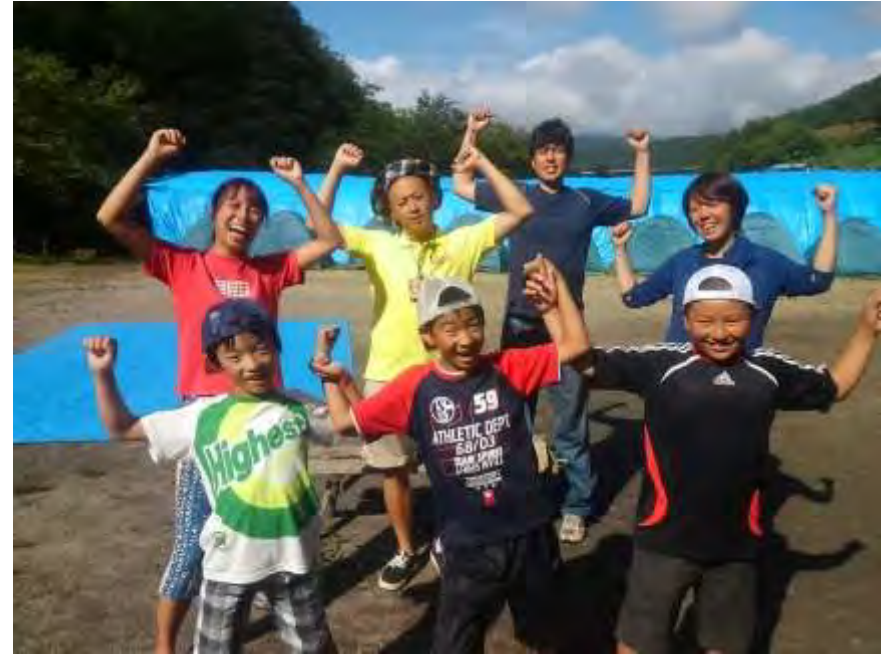
そして熊本 支援＝支縁

益城町、南阿蘇村、御船町のこどもたちを泰阜村と福島が支える



余震を恐れて、夜になると家に入りたがらないこどもたち。一人でトイレにも行けず、両親にしがみつくこどもたち。

逃げ場のない大地震は、元気そうに見えるこどもたちの心に深い傷を負わせた。トラウマ、PTSDへ。



熊本の被災児童を4年間で52名、信州こども山賊キャンプに招待した。それを、福島がサポートする。時を超えて被災地同士が支え合う。泰阜村の教育力は支援を豊かにする。

教育を通じた支援。それが、小さな村の身の丈にあった支援。



未来づくりは、教育から始まる。

グリーンウッド自然体験教育センター

ひとづくり × 地域づくりの30年の成果

やっぱり泰阜村がいい
(村の価値の再認識)

遊びが産み出した
経済効果

自律的に動き出す
村人たち

村出身の若者が
Uターン

村出身の若者がUターン



Uターン者数

この7年で **114人**

(泰阜村総合戦略データ)



未来づくりは、教育から始まる。

グリーンウッド自然体験教育センター

ひとづくり × 地域づくりの30年の成果

やっぱり泰阜村がいい
(村の価値の再認識)

遊びが産み出した
経済効果

村出身の若者が
Uターン

自律的に動き出す
村人たち

スタッフの定住へ
そしてSターン



未来づくりは、教育から始まる。

グリーンウッド自然体験教育センター

山村留学卒業生が、Sターン

Sターン者数

この3年で **3組**

(泰阜村総合戦略データ)



**今や限界集落が消滅しつつある
そして保育園に待機児童が(出生数の増加)**





未来づくりは、教育から始まる。

グリーンウッド自然体験教育センター

ひとづくり × 地域づくりの30年の成果

やっぱり泰阜村がいい
(村の価値の再認識)

遊びが産み出した
経済効果

村出身の若者が
Uターン

自律的に動き出す
村人たち

スタッフの定住へ
そしてSターン

そして今後は？

【森林×公教育】 学校と共に創る 森林環境教育の道筋

ホールアース自然学校 福島校
(NPO法人ホールアース研究所 福島事務所)
拠点責任者：和田 祐樹

【ホールアース自然学校とは】

- ・創立:1982年 ⇒ ディズニーランド、ファミコンの台頭が1983年
- ・スタッフ数: 約40人 (スタッフ全員が有給スタッフ)
- ・拠点数:5県8拠点 (福島・新潟・静岡・岐阜・沖縄)

【福島】

○東日本大震災 ⇒ 震災復興活動を開始。

・福島校:2012年秋 : 設立準備室設立。

2013年 : 福島校開校。

～

2019年 : 福島大学と連携協定を締結。



【福島校のミッション】

最高の体験教育プログラムを実践し、
環境に与える不必要な悪影響を最小限に抑える。
喜びと発見に満ちた共生・循環する暮らしを目指し、
数世代先に新たな価値を拓く、人と環境を育む。



【自己紹介】



◆福島県西白河郡矢吹町出身
福島大学教育学部、卒業。

◆大学時代(2004.3～2009.3)
・順風満帆だった人間関係での挫折
・2カ月間、島民5人の半無人島生活
⇒**生き抜く術の挫折**から**自然学校**へ

◆ホールアース自然学校へ(2009.4～)
・岡山県青少年教育施設勤務
・新スタッフ教務&リゾートホテル連携
・東日本大震災復興支援

◆ホールアース福島校設立(2013.4～)
・福島の子どもと自然をつなぐ

・福島県森林環境教育検討委員
・郡山市社会教育委員、地域Co
・湖南小・中・高校運営協議会協議員

自然

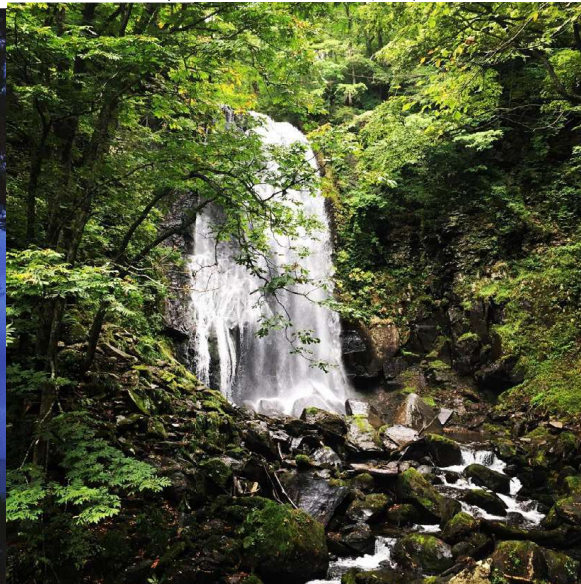
◆ふくしま子どもネイチャリングキャンプ◆

福島大学生がゼロから企画・運営し、子ども達と3泊4日駆け抜ける自然度の高いキャンプ企画。



◆ふくしまの自然で、自分の内なる声に出会う旅◆

福島自然や文化・人に出会うことで、自身の内なる声に出会う、再会PG。



他者

◆学生アクティブラーダー養成講座（年間）◆

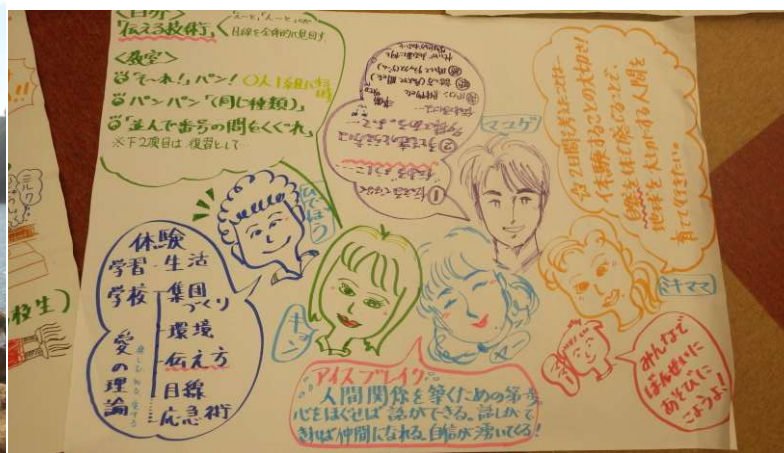
延べ参加者数 280人（2013年5月～2019年3月） 学生・若手社会人の養成講座

※現在休止中



◆地域・団体や教育現場でのファシリテーション◆

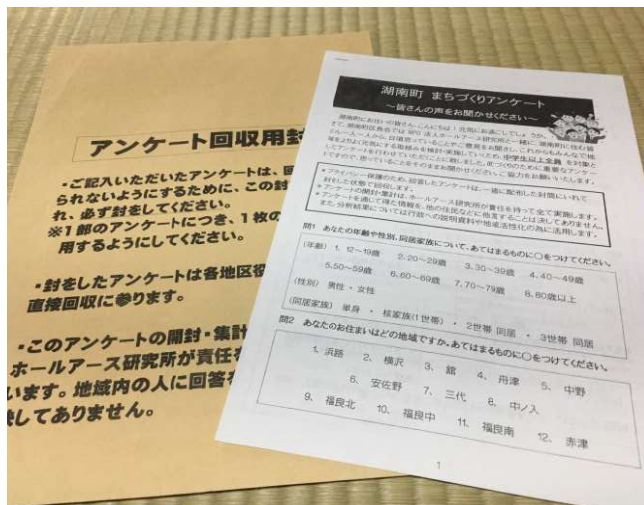
県内インターン生中間研修、農業高校経営マーケティング授業、社会教育団体研修etc



地域・社会

◆湖南まちづくりアンケートの実施◆

湖南町に住む中学生以上全員を対象に
各世代ごとの課題意識・ニーズはどこにあるのかを調査。



◆福島県立湖南高等学校「地域ミライ探究」+町づくり◆

教員も生徒も地域もみんな「ゼロからカレーを作る」難題に挑戦（2020）。



【福島県の森林政策】

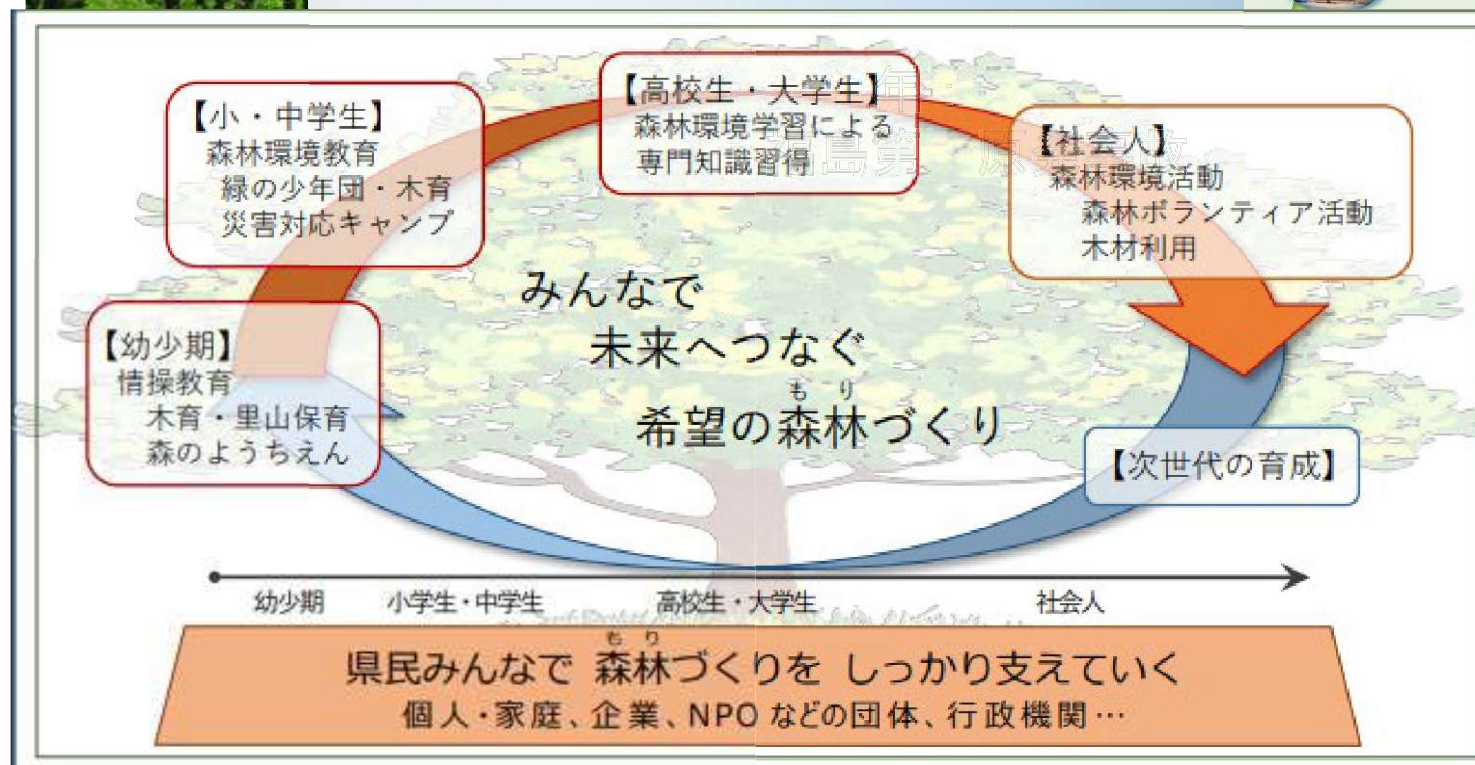
2005年：「森林文化のくに・ふくしま県民憲章」



2006年：森林環境税(個人・法人)を導入。



2011年：東日本大震災



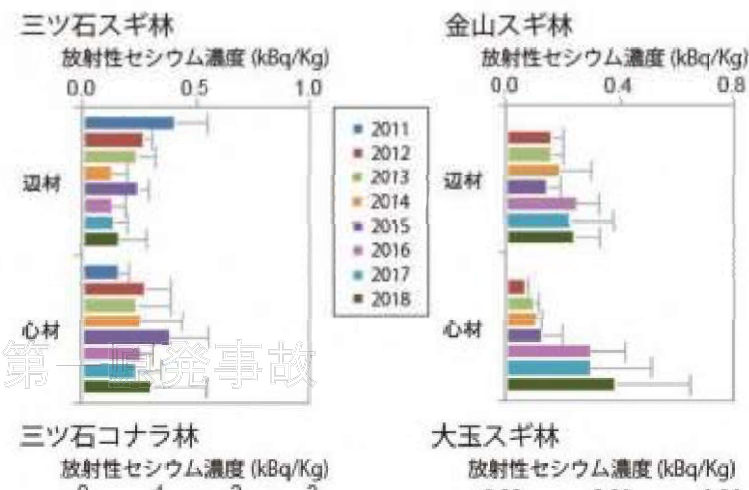
2013年：森林づくり活動推進についての提言

【福島県の森林】

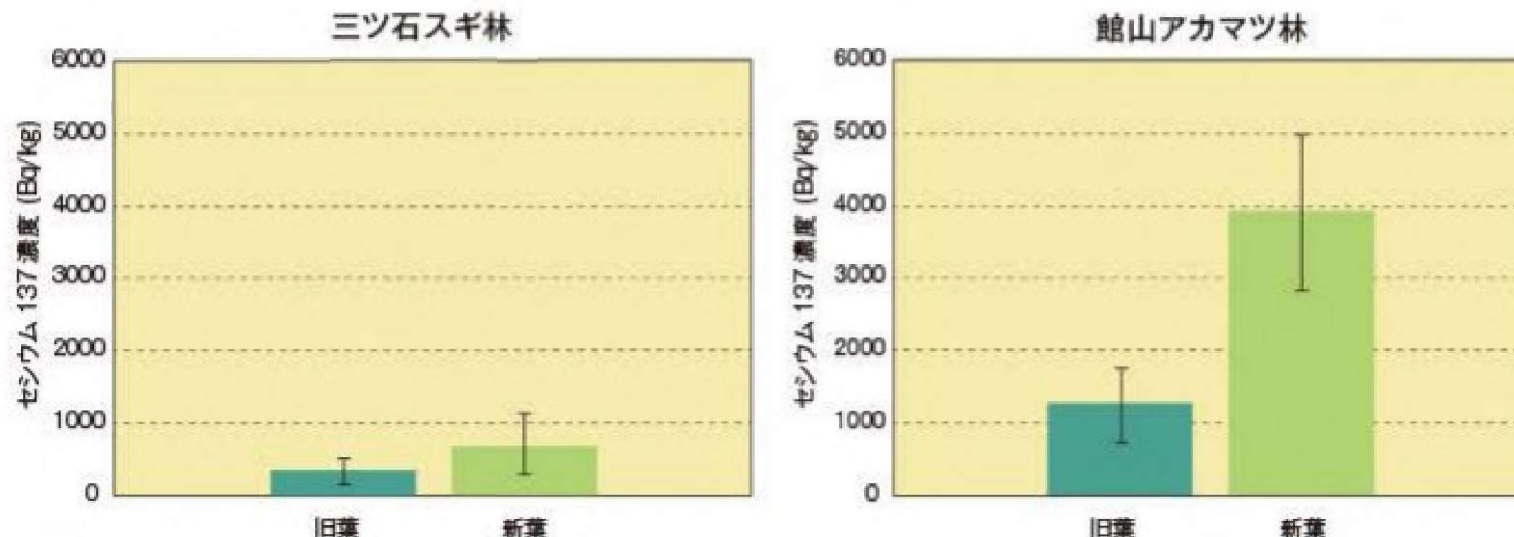


の
第4
林業
資源

福島第一原発事故



林整備も



〔図 3-13〕 2018 年の三ツ石スギ林と館山アカマツ林の新葉と旧葉のセシウム 137 濃度比較
各調査地の試料(三ツ石スギ: n=7; 館山アカマツ: n=8)における平均値(標準偏差)

資料: 林野庁「平成 30 年度森林内における放射性物質実態把握調査事業報告書」の調査結果より

林野庁

世代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	子育て世代の 心配が大きい
	38.5%	47.1%	55.1%	60.1%	57.7%	52.2%	47.9%	

〔図 3-15〕 三ツ石スギ林、金山スギ林、三ツ石コナラ林、大玉スギ林、三ツ石ヒノ
キ林、館山アカマツ林における木材内部の放射性セシウム濃度 (kBq/kg)
の変化

資料: 林野庁 HP「平成 30 年度森林内の放射性物質の分布状況調査結果について」

【福島県の教育と森林】



福島県では2011年から課題研究をはじめ、現在では全公立小中学校で、各学年2コマずつの放射線教育カリキュラムを導入している。

2020年10月3日

福島県森林の未来を考える懇談会から「森林づくりの提言」。
⇒「継続的な森林環境教育・学習・活動の推進」の実現に向け、「森林・林業を多面的・総合的に捉え、学校教育の中で子どもたちに分かりやすく説明できる副読本などの教材の提供を積極的に検討する必要がある」とされた。

2020年～：現在進行形

福島県

森林環境教育支援調査発信事業

- ・どんな教材がいいのか
- ・どんな外部人材がいいのか
- ・どんな仕組みならいいのか・・・

【全体計画】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度～
森林環境教育資料の作成・提供			
検討委員会による方針作成			
編集委員会による案(原稿)作成			
教育資料等の印刷・配布			
指導者の育成(外部講師研修)			
指導者研修の実施			
指導者の派遣			
森林環境教育実施(教育機関と連携)			

【福島県のこれまでの教育と森林】

「ふくしま森まっぷ」とは…
福島県が保有する地理情報の内、県内の森林・林業に関する事項をもっと良く知ってもらうための情報を地理情報としてインターネットを介したWebブラウザ上で皆様に提供する福島県が運営するサイトです。

お知らせ

2018-11-12
磐城森林計画区の森林情報、山地災害危険地区の位置、及び保安林の位置を更新しました。

2018-6-29
会津森林計画区の森林情報、山地災害危険地区の位置、及び保安林の位置を更新しました。

2016-11-22
奥久慈森林計画区の森林情報、山地災害危険地区の位置、及び保安林の位置を更新しました。

掲載マップ一覧

ご覧になりたい情報マップの地図検索をクリックすると、検索トップページに遷移します。

森林情報

民有林、保安林、林道、山地災害危険地区等の情報です。

地図検索

森林環境税での取り組み

森林環境税を活用して整備した施設等を紹介しています。

地図検索

巨樹・巨木マップ

巨樹・巨木情報です。

地図検索

森林における放射性物質関連資料等について

福島県内での森林環境放射性物質モニタリング調査結果等を掲載しています。

森林計画課ホームページ

スマートフォンサイトはこちら

QRコードをお読みください。
(一部未対応の機種があります)

ふくしまの森林文化

森林文化調査カード情報です。

地図検索

第69回全国植樹祭

県内各地の植樹活動等を紹介しています。

地図検索

ふくしま森マップ



森林文化記録映像「森の暮らし」

ふくしまの自然環境を守る

先人の育ててきた自然環境

裏磐梯の自然環境に学ぶ（学習指導案）

授業実践例 第5学年 総合学習：教科発展型（5年社会科、6年社会科）

- 単元名 ふくしまの環境を守る
- 単元のねらい
 - 裏磐梯の自然環境を通して、自然環境の恵みを体感することができる。
 - 観光地として人が訪れる程の自然環境を作り育ててきた先人の功績について知り、人間にとって自然は不可欠なものであることを理解することができる。
- 指導計画・学習内容（総時数6時間）

次時	学習内容	時間	指導上の留意点
1	めあてを知る	5	・県より配付されている「環境副読本」を活用すること。身近な環境について学習するという意識を高めさせたい。
2	副読本を参考に、ふくしまの環境について話し合う。	20	
3	スライドを見ながら、森林資源の有用性や環境との関わり、森林環境がもたらしてくれる美しさや恵みについて知識を豊かにする。	40	・自作資料を活用する。 ・木材資源や水環境の関わり、生物等を紹介することで、森林環境を大きく捉えさせ、森林の大切さを理解させたい。
4	見学学習のしおりをもとに裏磐梯散策の計画を理解する。 ・散策コース（五色沼トレッキング） ・植林による森林の再生 ・遠藤 現夢の功績	20	・「裏磐梯緑化の父」とよばれる遠藤現夢の功績についての具体的な数値や逸話を紹介することで、学習の目的を強く意識させたい。
5	本時の学習を振り返り、学習感想を発表する。	5	

3 裏磐梯ビジターセンターからスタートし、毘沙門沼を経由する五色沼トレッキングを行う。4. 榎原湖を帰着点とする。安全には十分に留意させる。
5. 磐梯山の噴火によって湖沼群ができたこと。
6. 遠藤 現夢を中心とした先人達が、裏磐梯の森林の再生に尽力したこと。（遠藤 現夢の墓碑）
榎原湖では、遊覧船から磐梯山や周囲の森林環境を観察する。また、榎原湖は、磐梯山の噴火で生じた堰止湖であるが、森林環境と相まって豊かな自然森林環境の一助にもなっていることを理解する。

森林環境学習の指導案事例集

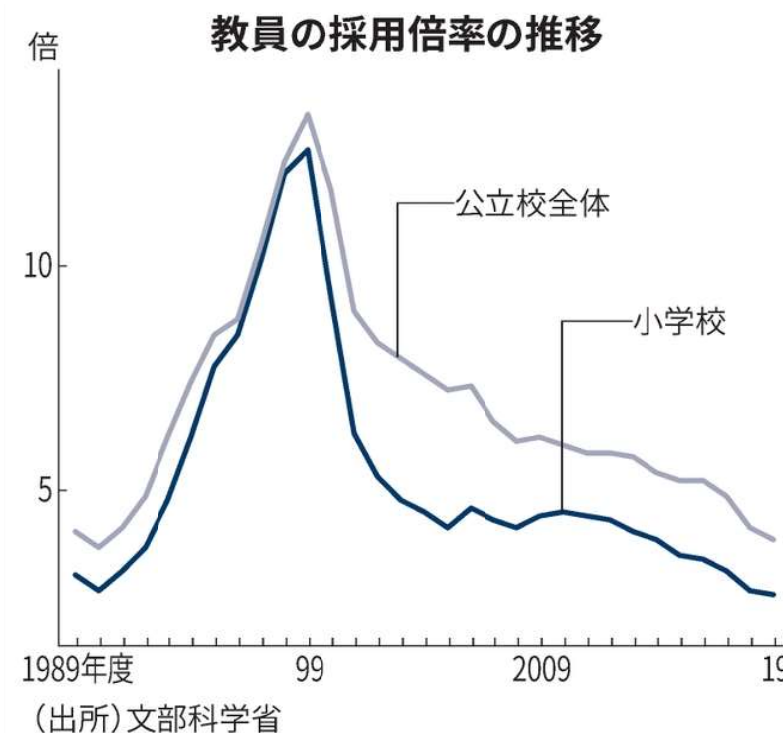
【学校現場と連携するために知っておきたいこと】

◆たくさんの〇〇教育



◆時代に沿った新学習指導要領の導入

- 小学校3・4年で「外国語活動」
- 小学校5・6年で教科としての「外国語」
- 小学校での「プログラミング教育」が必修化
- 観察・実験などによる科学的に探究する学習活動
- データを分析して課題を解決するための統計教育
- 小・中「特別の教科 道徳」が新設
- その他「起業に関する教育」「金融教育」「防災・安全教育」「国土に関する教育」等

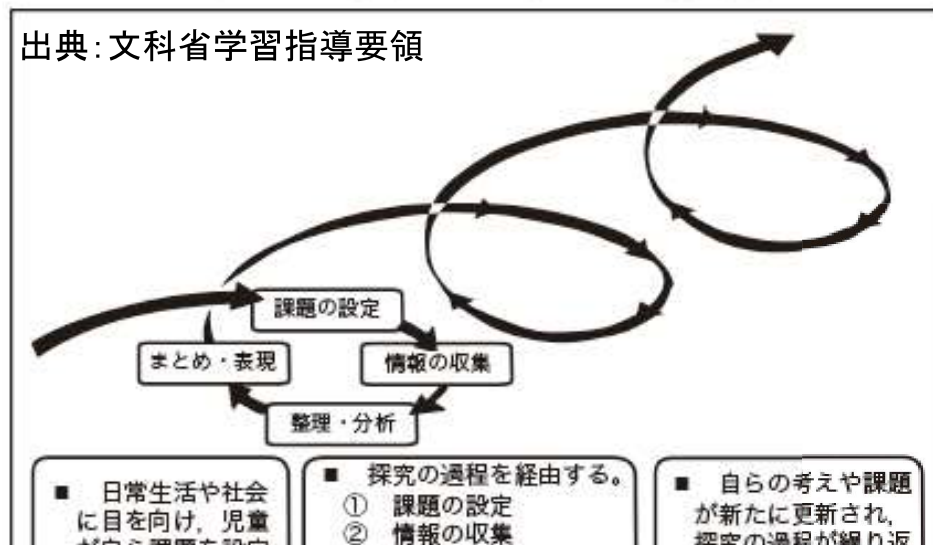


◆採用倍率の低下

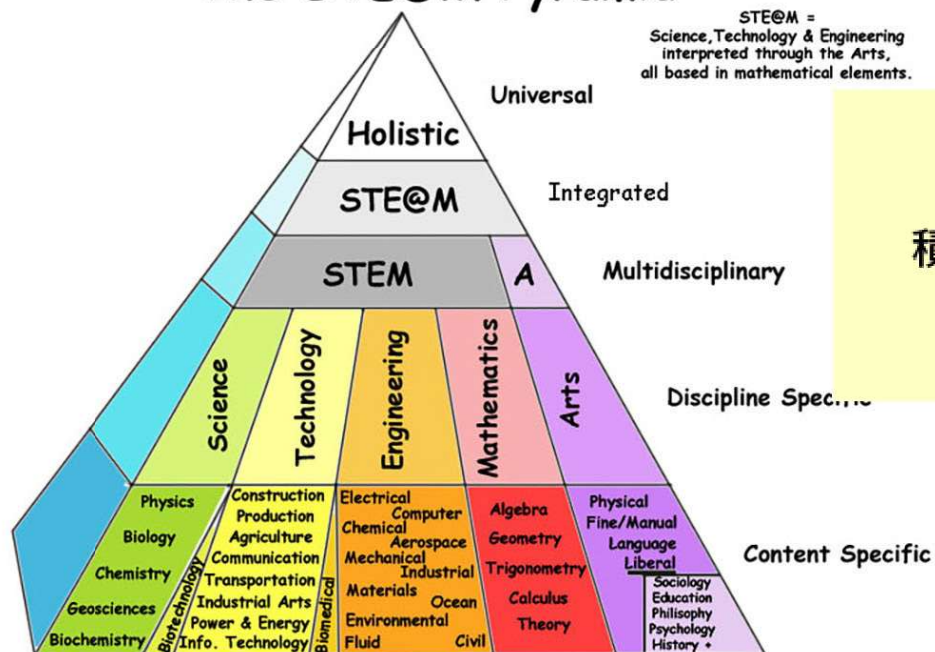
【学校現場と連携するために知っておきたいこと】

探究的な学習における児童の学習の姿

出典：文科省学習指導要領



The STE@M Pyramid

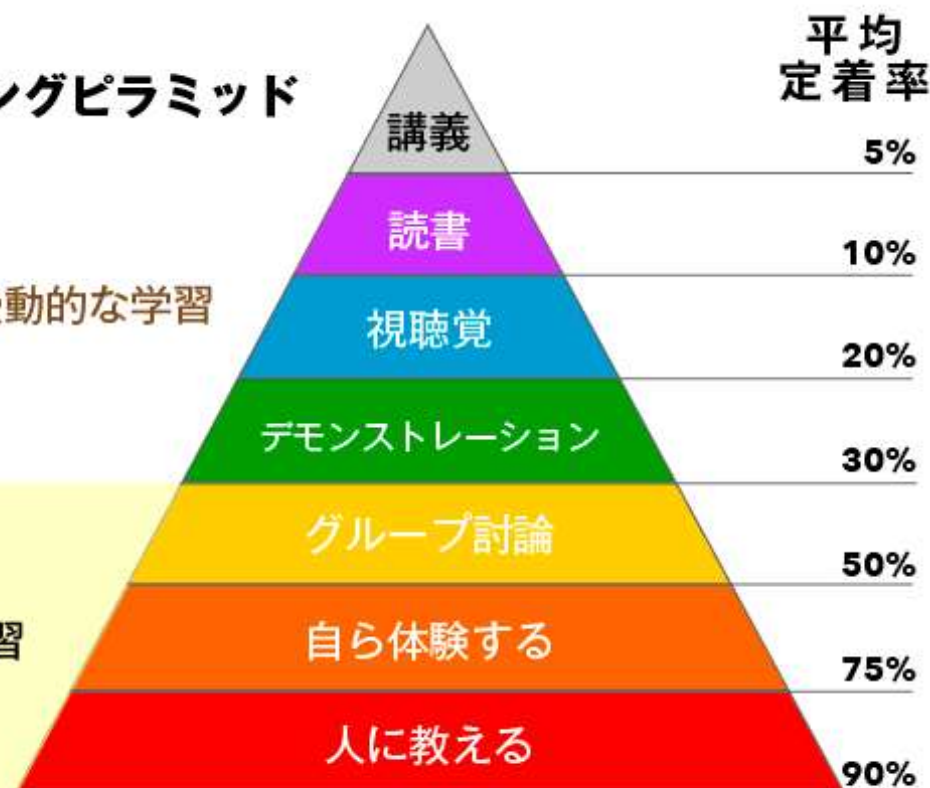


C.2006 G. Yakman

ラーニングピラミッド

従来の受動的な学習

積極的な学習



出典：U.S. National Training Laboratories

【聴こえてきた、連携のための兆し】

「森林環境教育」の魅力を片思いで伝える教材ではなく、
学校教育のカリキュラムに沿った「森林環境教育」の提案

学校現場経験や学校側の現況を知っている（知ろうとして
くれている）外部人材は、話も進みやすく、相談しやすい。

「読んでもらえれば伺いますよ」という指導者リストよりも、
「必要な人をつなぎますよ」というコーディネート・相談役が貴重

SDGsは、各教科の中でつなげていくよう指示がある。教材としては、
教科・学年から逆引きでSDGsもふまえた提案があるとありがたい。

コミュニティスクールの導入によって、
地域と学校が共に課題を共有し、解決に向けて協働する。

【聴こえてきた、連携のための兆し】

小学校3年生～5年生で「環境」をテーマに、総合的な学習の時間（20～60時間）を行う学校が多いので、1年半ばかり相談・連携していく

そして何よりも大切なことは、

イメージで話さず
しっかりと向き合って
対話すること

中学「
その中

実施するためには、
る

外教育を受けて、

中2で必ず「職業体験」をする。キャリアを考える年齢。だからこそ、「キャリア」の提案として、森林に関わる憧れの仕事を紹介することも良。

ご清聴ありがとうございました

すべての人と
森をつなぐ

morinos

(森林総合教育センター「モリノス」)

の挑戦



萩原・ナバ・裕作
岐阜県立森林文化アカデミー & morinos



岐阜県立 森林文化アカデミー

(岐阜県美濃市 since 2000)



1. 専修教育部門（2年制）

エンジニア科
(高卒以上/学年20名)

林業
林産業



クリエイター科
(大卒・社会人/1学年20名)

林業経営・木造建築
木工・森林環境教育



2. 専門技術者研修部門



3. 生涯学習部門



2013年「アカデミー改革案」として提案

日常的&総合的に「森と人をつなぐ」
拠点を作ったらどうだろう！

なんだ、ドイツにあるじゃん!?

Hau Des Waldes (森の家) @ Stuttgart (ドイツ)



アカデミーに
日本初の
森林総合教育センター
作らしましょう！



ナ バ

いいね！



涌井 史郎 学長

2017年
日本初の「森林総合教育センター」 設立が決定！

森林環境教育の 新たなステージ！？

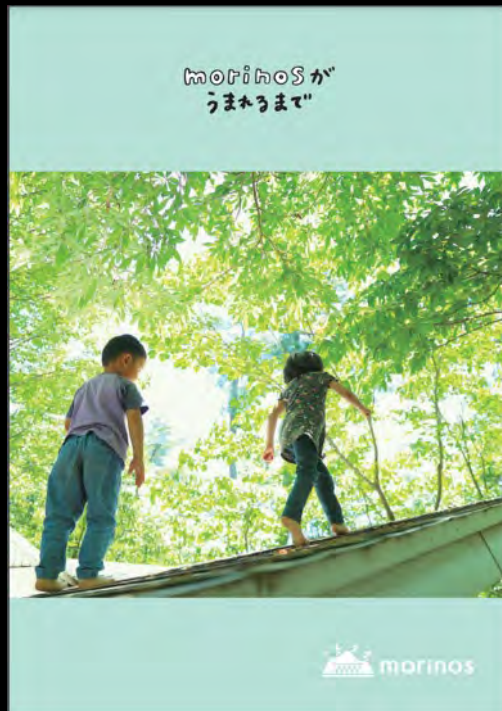
ゆっくりと 準備が始まる。

まずはじめたのが。。。

プロセス（モノよりコト）が宝！ 記録しよう！

「morinos が うまれるまで」

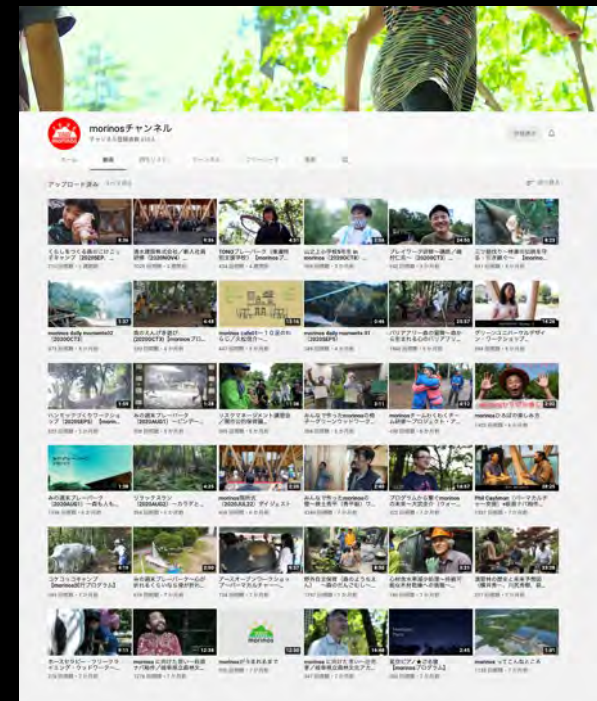
（冊子 32ページ フルカラー）



morinosホームページ (<https://morinos.net>)
「資料」ページからダウンロード可能。

「morinos チャンネル」

（続々更新中！すでに30本以上の動画！）



morinos ホームページ もしくは
www.youtube.com/c/morinos/videos

次に始めたのが
「何をするか」決めるのではなく

「大切にしたいこと」を決めた

行政だからこそ

出来ること

やるべきこと

「新しい公共」

NEW PUBLIC





「学ぶ」ではなく

「感じる」

これからの
森林環境教育は

「森を」ではなく

「森で」

「部分」ではなく

「全体」

体験も

伝え方も

動き方も





トンガリ

わくわく

実験場！

固定観念を捨てちゃえ！

モデル作って広めちゃえ！

みんなで
一緒に

「森じかん」で
つくる





柔軟に
変化し続ける

永遠に未完成

森に感謝



みんなが集い
学び合い 成長し
巣立っていく
そしていつでも戻ってこれるような
あったかい巣のような
そんな場所になったらいいよね！

morinos（モリノス／森の巣）と命名！



やがてみんなの森になる

morinos

モリノス

2020年7月 morinos OPEN!

図書コーナー
カフェコーナー
森を楽しむ
レンタルキット
ボーダーレスな
オフィス&混ざり場

morinosハウス
(隈研吾デザイン監修)

炊事場
(アースオーブン)

ティーピー
(雨でも焚き火)

すぐ隣が演習林
(33haもある)
遊歩道・東屋

穴掘り放題
泥遊びし放題の山

自由な木工エリア
(工具も端材も使い放題)

薪割り放題!

お外でピアノ!



moriniosの活動

- 実験プログラム
- 教育現場の体験協力
- スキルアップ研修
- 情報・ネットワーク

- 主催事業
- 委託事業
- 連携事業



乳幼児と森

森のようちえん



公立園での自然体験



morinosひろば



小学生と森

森のフリーキャンプ



プレーパーク



学校林を遊び場に



中高生と森

森の手道具体験
(技術・文化を知る)



プレーパークづくり
(自分たちの場所をつくる)



キャンプリーダー活動
(責任・伝える)



大学生と森

森のだいがく
(観察・伐倒・ものづくり)



看護大学 森林文化体験
(森と看護をつなぐ)



保育学科生 森林体験
(指導者のたまごへの教育)



社会人と森

森の企業研修
(保養&チームビルディング)



森のマインドフルネス
(ヨガ・リラックスラン・はだし)



森からつくる
(暮らしのものづくり)



新たな挑戦と社会への提案

森で国語算数理科社会
(森の教室)



こけっこキャンプ
(暮らし型 連続キャンプ)



うま森プロジェクト
(馬搬・馬耕・研修・セラピー)



指導者スキルアップ (幼児自然体験指導者の場合)

- OJT研修
- 森の自然の知識
- 野外活動技術
- リスクマネジメント
- アート&クラフト
- 音楽
- コミュニケーション
- 森の管理・危険木認知
- ものづくり
- プレイワーク
- 組織運営
- などなど

ゴールのない永遠のスキルアップ



森でつながる（情報&ネットワーク）



森への入り口を広げる 多様な切り口

＜自然科学＞

森の動植物
森の生態



＜子育て・教育＞

森のようちえん&
森の教室&
プレーパーク



＜野外体験＞

ツリークライミング&
各種キャンプ



＜アート＞

森のアート教室&
森の音楽会



＜木工・建築＞

暮らしを創る木工&
セルフビルド



＜森林文化＞

馬搬・馬耕&
山里の知恵講座



＜集う・交流＞

森のマルシェ
野外フェス



＜健康・スポーツ＞

森ヨガ&森林浴&
リラックスラン



大人も子どもも
「やりたい！」が 実現できる場

プログラムが 利用者から生まれてくる。
「消費」から 「自分ごと」に



これからの森林環境教育 成功へのカギ

～持続可能な未来のために～

- 「森を」から 「森で」
- 「イベント」から「暮らし」へ
- 「混ぜる」「森のコミュニティ」
- 「一緒につくる」
- 行政は市民が主体的に活動できる資金・空間提供
- 税金は「投資」。「消費型」から「価値創造型」へ
- 「森じかん」でプロの指導者や未来の人材を育てる
- 「トップダウン型」から「地域モデル型へ」



ご清聴ありがとうございました。



morinos (モリノス) HP

<https://morinos.net>

morinos チャンネル

<https://www.youtube.com/c/morinos/videos>

パネルディスカッション
つたえる、感じる、つながる
森林環境教育のためにできること

2021(令和3)年3月3日

森林空間を活用した教育イノベーション検討委員会

天笠 茂(千葉大学特任教授)

学校教育と森林環境教育とのつながり

—“森林を学ぶ”、“森林で学ぶ”—

■ 森林が有する優れた教育的価値

- ・ 森林を知る
 - ・ 森林という空間の活用
 - ・ 21世紀に関わる課題との出会いと探究
 - ・ 森林を通して、心情の形成、生き方を探る
- ＜文学や芸術の世界における“森”や“林”＞

学校において適切な教育課程を編成する

■学校において、適切な教育課程を編成する

- ・国の示す基準(学習指導要領)に従って

■教育課程の枠組み(小学校)

- ・教科(国語、社会、算数、理科、生活、音楽、
図画工作、家庭、体育、外国語)
- ・特別の教科 道徳
- ・総合的な学習の時間
- ・外国語活動
- ・特別活動(学級活動・児童会活動・学校行事)

■学校としての編成の方針

学校において適切な教育課程を編成する

国の示す基準(学習指導要領)に従って	
教育課程の枠組み	
教科(小学校)	国語、社会、算数、理科、生活、音楽、 図画工作、家庭、体育、外国語
特別な教科 道徳	
総合的な学習の時間	
外国語活動	
特別活動	学級活動、児童会活動、学校行事
学校としての編成の方針	学校教育目標 重点目標 特色ある学校づくり めざす児童像 育成をめざす資質・能力

学校のカリキュラム・マネジメントへの支援

問題解決型の学習の実現



学校のカリキュラム・マネジメントへの支援

諸資源をもって支援する



コーディネーターによる学校支援

地域コーディネーター

- ・地域による学校支援活動等に際して、主に学校区における活動の連絡調整役としての機能を果たし、学校づくりや地域づくりに関わる活動等の企画調整を担う。

“社会に開かれた教育課程”

- ・新学習指導要領のめざすところ
- ・地域と連携・協働しながら 学校教育の実現をめざす。

カリキュラム・コーディネーター

- ・森林に関する知見を有し、学校の教育課程についても精通し、学校における森林環境教育に関する活動等を助言する役割を担う。
- ・創設に向けて、省庁間で連携して横断的に検討する。

もりってどんなところ？

たのしいものがたくさんおちていて、
きがたくさんたっていて、
どうぶつがいそうでおもしろくて、
きれいなおちばとかおちているのがたのしい。
ワクワクしちゃって
きがいっぱいゆれているからおもしろい。
きがたくさんあるから
かくれんぼやおにごっこもできるしふしぎなところ。



どうしてきははえてくるのかな～っておもっちゃう。

どうしてもりはできたのかな～とおもう。

ワクワクドキドキしちゃうかんじ。

はっぱがいっぱいあるからおりょうりもできる。

どんぐりやまつぼっくりもたくさんあるから

おりょうりができる。

もりにはかわがながれているからみずくさもあって

ほうきであつめてふかふかのクッションもつくれる。

もりのなかはさむくてかぜがふくときもちがいいからたのしい。

とりのはねとかおちているとワクワクしちゃう。
でもバイキンもっているからひろわない。
でももりってふしぎだな～どうしてできたんだろうとおもう。
ゆきがふったらゆきとかきもちいいから
もりへいきたいな～とおもう。

もりはふしぎ。
あめがふったらぬれているはっぱがあっておちばがすごくきれい。
ふゆになるとはっぱがうまっていてつめたくてきもちいい。

あきてきたな～とおもうとりのことをかんがえてみる。
どんなにたのしいかな～ってかんがえてみる。

もりができてくれてよかったとおもう。
はらぺこみんながあそぶもりだから。
ぼくらのあそぶところ。
だからもりになんかいもいきたい。

はるになったらすいろであそべる。

いつもひろったはっぱをどうしようかなとおもっている。

おはなもたくさんある。

しかのつのもさがせる。

じぶんにとってはもりはどうしてできたんだろう。

どうしてこんなにたのしいんだろうとおもう。

はらぺこにはいるまえは

もりはどんなんかな〜とおもっていたけど。

きのぼりもできるしできないきもある。

おなかがへったときは
きいちごとかあけびとかたべれば
おなかいっぱいになる。

もりとおわかれするのはさみしいなぁとおもう。
だってはらぺこをそつえんすると
あまりもりにいけなくなってしまうから。

もりであそんでいて
せんせいがかえるよ～！
っていうとすごくざんねん。
もっとあそんでいたい。
もりはすごくたのしいの！

めいな（年中）



引用 はらぺこひゃくにん p44-p45 (907字)
(NPO法人 山の遊び舎はらぺこ 2019年11月発行)

これは長野県伊那市にある森のようちえん**山の遊び舎はらぺこ**の卒園生（当時年中さん）が書いた900字を超える長い詩です。

森がどれほど楽しいか、どれだけ森が好きか。5歳ながらに知っている言葉のすべてを駆使して書かれています。

森のすばらしさを、この子以上に的確にわかりやすく説明できる大人がいるでしょうか。

この詩に出会った時、私はものすごく感動し、また多くのことを教えてもらいました。

そして幼児期にこうした経験をするのが、この子のその後人生に必ず大きな影響を与えるであろうことをはっきり想像しました。

こうした経験ができる子どもが一人でも多く増えることを願いますし、こうした経験をした子どもが大人になる頃には、きっと日本の森は豊かに再生し、人類の文明との共生も可能になるだろう、と確信します。

2008年ノーベル化学賞



下村 脩（しもむら おさむ）

ボストン大学名誉教授

1928年（昭和3年）8月27日 -
2018年（平成30年）10月19日

子ども達にはどんどん
興味をもったことをや
らせてあげて。

**やり始めたらやめたら
ダメですよ。**

2016年ノーベル生理学・医学賞



大隅 良典（おおすみ よしのり）

東京工業大学科学技術創成研究院
特任教授・栄誉教授

1945年（昭和20年）2月9日 -

大事なのは子ども時代に誰も
が持っている**これは何だろう
どうなっているんだろう**とい
う素直な気持ち。
自分が面白いと思った道を突
き進んでほしい。

2018年ノーベル生理学・医学賞



本庶 佑（ほんじょ たすく）

京都大学名誉教授

1942年（昭和17年）1月27日 -

不思議だなと思う心を大切にす
る、教科書に書いてあることを
信じない、常に疑いを持って
本当はどうなっているのだろう
と。
自分の目でものを見る。納得す
る。あきらめない。一生をかけ
るならリスクが高くてもやりたい
ことをすべき。